

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

事業名： 地方道路交付金事業
路線名又は箇所名： 佐賀大和線
事業の概要
工 期：平成 5 年～平成 23 年
事 業 費： 189 億円
事業内容：現道拡幅 L = 約 1.7km W = 30.0m

【公共事業の効果等】

交通の円滑化
良好な都市空間の創出

【事業実施前の状況等】

佐賀市中心部を通り、長崎自動車道佐賀大和 I . C、九州佐賀国際空港及び整備中の有明沿岸道路を結ぶ南北主要幹線道路として位置づけられているが、自動車交通が多く恒常的な交通渋滞が生じている状況であった。

また、沿道には佐賀市立図書館、生涯学習センター、佐賀新聞社などの文化、教養、情報施設を集約した「どんだんどの森」が隣接しているが、歩道が狭く歩行者と自転車が輻輳しており危険な状況となっていた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

道路の拡幅により、交通の円滑化が図られた。
自歩道整備による児童等の通学の安全が確保された。
無電柱化の実施により景観が良くなった。

(県民の声)

自動車道が拡幅したことで、混雑が解消された。
歩道が広くなったことにより、高齢者の移動の安全が確保された。
自動車・自転車・歩道が区分されたことで、安心して利用できるようになった。
照明の整備により夜間の安全が確保された。
建物が新しくなることや、無電柱化の実施により景観が良くなった。
道路が広くなることによって新規の商業施設が来たことから、地域の経済活動が良くなった。